

TT3

FT3

トリヨードサイロニンキット

遊離トリヨードサイロニンキット

一般に T3 (総 T3、弊社測定系名では TT3 と表記) または FT3 (遊離型 T3) は甲状腺機能亢進症では高値、甲状腺機能低下症では低値を示します。甲状腺から分泌された T3 の大部分は血中のたん白質 (TBG、アルブミン、等) と結合して存在しており、FT3 は総 T3 量の約 0.3% とわずかです。TBG 欠損症や異常症、妊娠等では、結合蛋白濃度の変動によって、甲状腺機能が正常であっても、T3 (総 T3) が異常値を示す場合があります。

なお、TSH、T4 (FT4) が正常範囲にあり、T3 (FT3) のみ低値を示す場合を low T3 syndrome と呼び、甲状腺の機能異常とは区別されます。血中 T3 の大部分は末梢組織で T4 の脱ヨード化によって生じます。そのため T3 濃度は甲状腺機能だけでなく、末梢組織での代謝状態も反映しています。

仕様

TT3

試薬構成

免疫反応試薬	E テスト「TOSOH」II (TT3)	(100テスト/箱)
標準品	E テスト「TOSOH」II (TT3) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	E テスト「TOSOH」II (TT3) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップ競合法) 結果報告 約20分

測定範囲 0.2 ~ 8 ng/mL

健常人参考値 0.79 ~ 1.58 ng/mL (社内データ)

FT3

試薬構成

免疫反応試薬	E テスト「TOSOH」II (FT3)	(100テスト/箱)
標準品	E テスト「TOSOH」II (FT3) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	※本項目には検体希釈液はありません	

対象検体種 血清、ヘパリン血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップ競合法) 結果報告 約20分

測定範囲 0.5 ~ 25 pg/mL

健常人参考値 2.1 ~ 3.8 pg/mL¹⁾

1) 島本 他、機器・試薬、18,455-459(1995)

※ FT3 は血中の結合蛋白によって平衡状態が保たれているため、検体を希釈すると濃度の変動し、正確な値が得られません。従って、測定範囲の上限を超えた (>H) 場合でも、希釈測定しないで (>25 pg/mL) として報告してください。